

J R関西本線（加茂以東）沿線地域公共交通活性化協議会 開催結果（第30回）

1. 日 時

令和6年1月19日（金）午後3時15分から午後5時15分まで

2. 場 所

天然わかさぎ温泉 笠置いこいの館 2F

3. 出席者

委員16名（うち代理3名）、オブザーバー2名

4. 議題

議題第1号 相楽東部広域バスの利用状況について【報告】

議題第2号 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について【協議】

議題第3号 相楽東部広域バスの令和6年度運行計画について【協議】

議題第4号 令和5年度補正予算（案）について【協議】

5. 審議結果

（1）議題第1号 相楽東部広域バスの利用状況について【報告】

＜資料説明：事務局＞

議題第1号のとおり。

相楽東部広域バスの利用状況のうち、フィーダー補助分（月、水、金、土）を報告。

＜意見等＞

（加藤会長）

- フィーダー補助分のみではなく、毎日運行分についても報告すべきである。

（2）議題第2号 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について【協議】

⇒1月中に国へ提出する必要があるため、修正後の内容は会長一任で承認

＜資料説明：事務局＞

議題第2号のとおり。

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について、参考資料を用いて説明。

＜意見等＞

（加藤会長・京都運輸支局）

- 本評価様式は、フィーダー補助のみの広域バスの運行に対する評価だけではなく、地域公共交通ネットワーク全体として、広域バスの毎日運行や、奈良交通バス和東木津線、広域バスのJR定期券所持者の無料乗車などについても記載すべきである。

(3) 議題第3号 相楽東部広域バスの令和6年度運行計画について【協議】

⇒具体的な運行計画(案)を次回協議会(4月と6月)にて継続審議することとなり、協議事項(ダイヤ見直し時期と運行経費の協議会繰越金活用)の議論は見送り。

※4月にダイヤ案を提示し議論。6月に議論を反映させて新ダイヤ提示。

<資料説明：事務局>

議題第3号のとおり。

相楽東部広域バスの令和6年度運行計画について説明。

<意見等>

(加藤会長)

- 周辺住民の隠れたニーズの掘り起こしのため、聞き取りをきちんとやっていく必要がある。例として、加茂駅の東口にあるスーパー付近への延長ニーズ等があるかもしれない。
- 10月からの運行計画の見直しに向けて、もう少し分析する必要がある、6月までには、具体的な運行計画を提示し協議会で承認いただく必要があるが、事前に実務会議や協議会の開催を行う必要がある。次回協議会の開催はいつにするのか。

(事務局)

- 次回協議会については、令和6年度予算を審議する必要があるため、本来は年度内に開催すべきところであるが、3月は笠置町及び南山城村にて選挙が実施されるため、4月以降の開催としたい。

(JR西日本)

- ダイヤ見直し時期は10月1日とあるが、早められるのであれば早めても良いと思う。

(加藤会長)

- 次回協議会については、予算と決算、令和6年度事業計画を審議するため、バスの運行計画については、4月の協議会で分析資料と具体案を提示のうえ議論し、6月の協議会で決定することとする。運行計画(案)の作成に向け、事務局にて必要な情報の収集を進めてほしい。

(加藤会長)

- 笠置町循環バスに町民以外が乗車できるよう変更できないか。

(笠置町)

- 町民以外の乗車について検討はしているが、利用料金の問題で止まっている。

(加藤会長)

- 無料であれば許可等も必要ないため、一度実証実験を行ってみるのはどうか。混雑した場合には町民優先、多数の乗車については事前連絡が必要等の条件を設けることで、実際の問題が見えてくるのではないか。

(笠置町)

- 手法については考えつつも、実証実験を実施する。

(4) 議題第4号 令和5年度補正予算(案)について【協議】 ⇒承認

<資料説明：事務局>

議題第4号のとおり。

令和5年度補正予算(案)の説明。

<意見等>

(加藤会長)

- 本予算(案)については、燃料費及び人件費の高騰により令和6年度からの相楽東部広域バス運行経費が上昇したことによるものであり、必要な経費であると考えている。

6. 意見交換

- 京都運輸支局より、1月21日(日)に開催の「バスええやん!バスどらフェス in 京都」の紹介。
- JR西日本より、「西Navi」に関西本線、相楽東部が紹介されている旨の報告と、観光庁補助金を利用した「駅長おすすめ駅プラン」「デジタルスタンプラリー」の紹介。

以上